

奈良県知事
荒井 正吾 様

奈良市長 仲川 げん

緊急事態宣言の発出に関する要望書

奈良県内においても感染力の強いデルタ株への置き換わりが急速に進む中、令和3年8月19日(木)に新規感染者が180人、現在感染者数が1,190人と過去最多を数え、また、国がステージを判断するための指標のうち、確保病床使用率及び人口10万人当たりの療養者数がステージIV相当を超える数値で10日以上も推移している状況と認識しています。

本市においても、8月18日(水)に新規感染者が49人、8月19日(木)に直近1週間での新規陽性者が267人と過去最多を記録するとともに、8月20日(金)現在で、直近1週間の人口10万人当たりの新規陽性者数がステージIV相当を超える数値で20日も続いている状況となっています。

デルタ株のまん延により、今後、市内の医療提供体制及び奈良市保健所の対応体制のひっ迫は災害時に近い局面となることが大いに懸念され、今、強い措置を講じなければ、「県民・市民の救える命が救えなくなる状況」の到来が想定されます。また、夏休みの終盤を迎え、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の対象となっている近隣他府県からの往来による更なる感染拡大も懸念され、この状況を一日も早く脱するため、大阪府に加え、本日、緊急事態宣言の対象地域に追加された京都府・兵庫県と同様に強い措置を講じていく必要があります。そのためには、県民・市民の命と健康を守るため、速やかに、国から奈良県に対する「緊急事態宣言」を発出していただき、本市において、感染拡大防止のための緊急事態措置を講じていくことが必要と考えております。

つきましては、奈良県内における新型コロナウイルスの急速なまん延により住民生活及び経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある事態が発生していると考えられることから、国に対し、奈良県を「緊急事態措置を実施すべき区域」として、新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条第1項に基づく緊急事態宣言の発出を要請するとともに、奈良市内において緊急事態措置を講じていただくよう要望いたします。